

2026年度基礎研究費交付決定一覧

「2026年度 基礎研究費の申請・報告等について（通知）」に基づき、質の高い研究活動や知的財産の社会還元、外部研究費獲得の礎となる基礎的な研究活動に要する研究費として交付します。（執行可能期間：2026年4月1日から2027年3月31日まで）

※ 決定に伴う条件等

- 1 研究費を執行する際は、「研究費執行マニュアル」に記載されているルールに則り、執行すること
- 2 重大な違反があった場合、交付金の全部または一部の返還すること（研究費の取扱に関する規程第39条の2）

交付決定額には、定額基礎分300,000円の他に、外部研究費等を獲得する等条件を満たした場合は付加交付分200,000円、新任教員には環境整備費200,000円等が含まれております。

国際総合科学群

（以下、五十音順）2026年6月1日時点

No	学部	氏名	研究課題
1	国際教養学部	青 正澄	Circular Food Residue Valorization for Plastic Reduction and Regional Industrial Innovation in the Lower Mekong
2	国際教養学部	青木 えり	都市における環境配慮行動の形成と都市環境政策に関する研究
3	国際教養学部	新垣 二郎	基礎自治体の議会運営の実態解明－神奈川県内市町村の動きに着目して
4	国際教養学部	有井 巴	日本語児の比較構文の獲得研究
5	国際教養学部	有馬 貴之	位置情報・人流データ等の数量データを活用した観光地理学的研究
6	国際教養学部	有馬 斉	終末期医療の倫理に関する研究
7	国際教養学部	石川 永子	歴史的市街地の復興手法が被災者および観光客におよぼす影響に関する研究
8	国際教養学部	上村 雄彦	量子国際関係論の研究
9	国際教養学部	浮田 徹嗣	ロール・プレイングを用いた道德教育に関する研究
10	国際教養学部	江上 園子	幼児期から児童期における感情理解と感情調整の発達的な変化
11	国際教養学部	大澤 遼可	ノヴァーリスの自然学
12	国際教養学部	大島 誠	社会課題に対する財政分析
13	国際教養学部	大西 寿明	戦間期イギリス文学における男性性表象
14	国際教養学部	乙坂 智子	明の皇帝権力とチベット仏教
15	国際教養学部	小野寺 淳	アジアにおける都市形成のメカニズムの解明
16	国際教養学部	柿崎 一郎	第2次世界大戦後のタイの戦後処理に関する研究
17	国際教養学部	金山 泰志	近代日本の対中国感情の検討
18	国際教養学部	川瀬 和也	ヘーゲル哲学と自律・自己形成・疎外に関する哲学的・哲学史的研究
19	国際教養学部	後藤 寛	地理情報システムの人文科学分野への拡張の経験蓄積
20	国際教養学部	塩尻 智之	運動時の呼吸・循環系応答動態のモデル解析
21	国際教養学部	庄司 達也	芥川龍之介を主とする日本近代文学に関する研究
22	国際教養学部	鈴木 伸治	都市デザインおよび創造都市政策に関する基礎的研究
23	国際教養学部	高橋 力也	国際法の法典化：国際連盟から国際連合への継承と断絶
24	国際教養学部	滝田(石井) 祥子	集合的記憶の社会学的意義、仏教社会学、多文化共生社会にかかわる研究
25	国際教養学部	土屋 慶子	社会相互行為のマルチモーダル分析
26	国際教養学部	角田 隆一	「社会学的なフォト・プロジェクト」の現代都市論的展開——キャンパスタウン金沢八景を舞台にした大学生によるまち歩き写真実践の映像社会学的可能性
27	国際教養学部	坪谷 美欧子	公営住宅とニューカマー外国人の移住史
28	国際教養学部	中谷 崇	〈野蛮〉としての〈近代〉に対峙するための、テキスト中心主義的アメリカ文学研究
29	国際教養学部	中西 正彦	都市計画制度と運用における各主体の役割分担と課題に関する研究
30	国際教養学部	中村 恵佑	「進学適性検査」の導入過程における心理学者・城戸幡太郎の役割
31	国際教養学部	西海 洋志	国際秩序と「保護する責任（Responsibility to Protect: R2P）」概念に関する理論的・実証的研究
32	国際教養学部	根岸 弓	新生児殺現象の社会関係／社会構造論的検討
33	国際教養学部	平松 尚子	20世紀フランスにおける東洋思想の摂取と理解
34	国際教養学部	廣瀬 絵美	イギリスのフォークリヴァイヴァルにおける文化研究
35	国際教養学部	藤井 得弘	①中国近代小説と科学イメージ／②中国近現代における戦争の物語化
36	国際教養学部	松本 郁代	中世日本の歴史叙述と思维様式
37	国際教養学部	水倉 亮	非英語圏のEMIプログラムに留学する日本人学生の言語観変容について
38	国際教養学部	三輪 律江	多世代混合居住型まちづくりに資する居場所としての都市空間の活用・再生と地域コミュニティ活性に関する実践的研究2
39	国際教養学部	山崎 和美	「イラン女性によるメディア表象」
40	国際教養学部	山根 徹也	19世紀ドイツにおける民衆運動と民衆文化／ホロコーストの歴史
41	国際教養学部	吉田 栄一	地域振興における外部アクターに関する研究
42	国際教養学部	渡會 知子	社会理論における空間概念の検討とドイツにおける「ポスト移民社会」の動向について
43	国際教養学部	和仁 道郎	国際通貨・金融の歴史的変化とグローバル経済の動態
44	国際商学部	池上 慧	ヘルスケア産業における企業行動、消費者行動の解明
45	国際商学部	伊藤 智明	大学発スタートアップの発展に有効な「会社のつくり方」
46	国際商学部	岩佐 朋子	企業の境界の決定要因：小幅染織物製造業における産業ライフサイクル
47	国際商学部	大澤 正俊	民事判例の一考察
48	国際商学部	大谷 秀平	オークションと価格影響力
49	国際商学部	大塚 章弘	持続可能な地域経済システムとエネルギーに関する経済分析
50	国際商学部	加藤 弘陸	データに基づく医療経済学と医療政策学に関する研究
51	国際商学部	鞠 重鎬	財政学・地方財政学・日韓経済財政に関する研究及び講座研究
52	国際商学部	虞 朝聞	世代間公平性の公理論的分析
53	国際商学部	小泉 大輔	日本型人事管理における多様な人材の働き方と態度行動
54	国際商学部	佐藤 亨	政府の経営に関する理論的・実証的研究
55	国際商学部	柴田 典子	マーケティング領域(特に消費者行動論、ブランド論)における自分らしさと自己概念の明確性に関する研究
56	国際商学部	白石 小百合	主観データの行動経済学分析
57	国際商学部	随 清遠	銀行と企業の問題に関する研究
58	国際商学部	高木 俊雄	表象を契機とした組織行為
59	国際商学部	高橋 隆幸	税務会計とその周辺領域の研究
60	国際商学部	田場 弓子	国際貿易と多国籍企業による研究開発競争
61	国際商学部	張 櫻馨	日本企業における費用収益対応関係の長期的変化と収益認識基準
62	国際商学部	杜 雪菲	財務報告の有用性の再検討——投資家の情報処理の観点より
63	国際商学部	中國 善行	現代マクロ経済学に関する理論的・実証的研究
64	国際商学部	中村 祐太	時間構造を考慮した教員再配置マッチングの分析
65	国際商学部	長畑 周史	内部統制報告書によって開示された重大不備と非財務情報の質の検討
66	国際商学部	根本 裕太郎	関係の自律によるウェルビーイングを促進するデジタル／ストリート介入の設計原理
67	国際商学部	橋本 倫明	変化するビジネス環境における企業の経営課題と適応行動
68	国際商学部	原 広司	情報と意思決定の科学に基づく健康・医療の社会実装研究
69	国際商学部	藤崎 晴彦	自治体における計画策定のあり方
70	国際商学部	三浦 敬	高品質な定性的情報の特性に着目した企業業績に対する説明力の分析

No	学部	氏名	研究課題
71	国際商学部	吉永 崇史	ダイバーシティ・マネジメントにかかる研究
72	理学部(八景)	足立 典隆	ゲノムDNA損傷修復機構の解析
73	理学部(八景)	石川 裕一	新規医薬品としての応用が期待される天然有機化合物の合成とそれを基盤とした新規生物活性物質の創製
74	理学部(八景)	入江 楽	新規海洋天然物の単離・構造決定および合成研究
75	理学部(八景)	内山 英穂	胚と多能性幹細胞による組織・器官形成に関する基礎的研究
76	理学部(八景)	及川 雅人	神経細胞や動物細胞の膜に特異的に作用する小分子化合物の合成研究
77	理学部(八景)	大関 泰裕	海産無脊椎動物レクチンの構造機能相関
78	理学部(八景)	カナリー ロバート	Biodegradation of tethered hydrocarbon pollutants by fungi and bacteria
79	理学部(八景)	北 幸海	陽電子科学と質量分析学への計算分子科学の応用と展開
80	理学部(八景)	木下 郁雄	飛行時間型エネルギー分析器の開発
81	理学部(八景)	沓名 伸介	シアノバクテリアのセカンドメッセンジャーの新規定量法
82	理学部(八景)	小島 伸彦	臓器機能の再現を可能とする臓器設計技術の開発
83	理学部(八景)	斎藤 慎太	ヒト細胞におけるゲノム安定性維持機構の解析
84	理学部(八景)	佐藤 友美	マウス生殖腺・脳下垂体・視床下部への性ホルモンの影響と作用機構の解明
85	理学部(八景)	佐藤 拓輝	肺転移制御に関わる非転移臓器間ネットワークの解明と治療標的候補の探索
86	理学部(八景)	塩田 肇	植物胚の発生と発達に関する基礎的研究
87	理学部(八景)	篠崎 一英	金属錯体の光機能性の基礎研究
88	理学部(八景)	島崎 智実	シミュレーション・機械学習を持ちいた有機材料の特性研究
89	理学部(八景)	鈴木 凌	炭素量子ドットの作製
90	理学部(八景)	関本 奏子	多成分BVOCのリアルタイム計測
91	理学部(八景)	高見澤 聡	特異な物性を示す化合物の化学
92	理学部(八景)	立川 正志	エネルギー変換を行う複合生体分子系における凝集状態の物理的性質
93	理学部(八景)	立川 仁典	In silico の先導による重水素化医薬品の理解と設計指針の構築
94	理学部(八景)	橋 勝	分子性結晶の成長制御とその物性に関する研究
95	理学部(八景)	谷本 博一	細胞内構造の力学
96	理学部(八景)	中島 忠章	周囲環境が制御するマウス雌性生殖器発生機構の解明
97	理学部(八景)	野々瀬 真司	気相生体分子イオンのプロトン移動反応
98	理学部(八景)	東 昌市	がん悪性進展における細胞外プロテアーゼの機能解明とその応用
99	理学部(八景)	藤井 道彦	細胞老化の分子機構の解析
100	理学部(八景)	本多 尚	柔粘性イオン結晶の発現機構の解明
101	理学部(八景)	ミケレット ルジェ	知覚情報科学にかんする実験とアルゴリズムの研究
102	理学部(八景)	守 次朗	環境汚染物質分解能を有する土壌・海洋微生物の生態研究
103	理学部(八景)	山田 重樹	遷移金属酸化物の磁性と電子物性
104	理学部(八景)	山本 浩太郎	植物二次代謝機構の解明
105	理学部(八景)	横山 崇	窒素を含んだナノグラフェンの自己組織化および表面合成
106	理学部(鶴見)	有田 恭平	DNA維持メチル化の構造基盤の解明
107	理学部(鶴見)	池上 貴久	ヘム鉄をもつ光合成に関与する電子伝達系蛋白質の大量調製の開発
108	理学部(鶴見)	池口 満徳	生体分子(蛋白質、DNA、生体膜)の分子シミュレーション
109	理学部(鶴見)	石本 直偉士	ウイルス・疾患関連タンパク質の構造解析と創薬基盤開発
110	理学部(鶴見)	井上 雅郎	タンパク質の機能構造および構造安定性の解析計算手法の開発・高度化
111	理学部(鶴見)	片岡 浩介	生体機能維持に関する転写調節因子と活性制御因子の疾患における破綻
112	理学部(鶴見)	川崎 ナナ	異常翻訳後修飾による神経変性疾患の分子基盤の解明
113	理学部(鶴見)	古久保 哲朗	基本転写因子TFIIDの機能解析
114	理学部(鶴見)	小沼 剛	転写制御因子BRD4を標的とした中分子ペプチド阻害剤の開発
115	理学部(鶴見)	坂倉 正義	疾患関連タンパク質の構造生物学解析とNMRメタボロミクス解析
116	理学部(鶴見)	菅原 亨	iPS細胞の特性解析、疾患モデルの開発
117	理学部(鶴見)	高橋 栄夫	NMR法を活用した生体機能タンパク質の機能構造解析とその応用
118	理学部(鶴見)	Tame Jeremy	Engineering novel lectins
119	理学部(鶴見)	寺山 慧	生命・医療・材料科学におけるAI for Scienceの基盤構築
120	理学部(鶴見)	西澤 知宏	クライオ電子顕微鏡による膜タンパク質の機能解明
121	理学部(鶴見)	禾 晃和	膜タンパク質と抗体の分子認識機構の解明に向けた統合的アプローチ
122	理学部(鶴見)	林 郁子	微小管細胞骨格因子の構造機能解析
123	理学部(鶴見)	朴 三用	ヒト嗅覚受容体による香気寄与成分の匂い認識機構の解明
124	理学部(鶴見)	李 勇燦	膜タンパク質複合体の構造機能解析
125	理学部(舞岡)	一色 正之	ゲノム編集を用いた作物の分子育種
126	理学部(舞岡)	奥村 将樹	植物ホルモンによる環境応答制御に関する研究
127	理学部(舞岡)	川浦 香奈子	コムギにおける有用遺伝子の解析
128	理学部(舞岡)	木下 哲	植物生殖過程におけるエピゲノム制御
129	理学部(舞岡)	嶋田 幸久	生命化学研究
130	理学部(舞岡)	辻 寛之	イネ茎頂メリステムにおける成長相転換の分子機構解明
131	理学部(舞岡)	殿崎 薫	ゲノムインプリンティングの機能とその進化
132	理学部(舞岡)	坂 智広	植物遺伝資源の多様性と有用形質の育種的利用のための遺伝学的研究
133	理学部(舞岡)	丸山 大輔	シロイヌナズナの精細胞活性化機構の研究
134	データサイエンス学部	上田 雅夫	大規模現モデルによるマーケティング分析手法の統合に関する研究
135	データサイエンス学部	大西 暁生	ウェルビーイング向上を目指した都市のあり方
136	データサイエンス学部	岡村 寛	新たな生物データ解析手法の開発
137	データサイエンス学部	尾崎 順一	ビッグデータと数理モデルによる社会現象の理解
138	データサイエンス学部	落合 桂一	人の行動や社会活動のセンシングと時空間解析の研究
139	データサイエンス学部	北園 淳	「意識」の理論神経科学
140	データサイエンス学部	金 亜伊	深層学習による火山性地震の新たな分類基準の提案及び解釈可能な分類モデルの構築
141	データサイエンス学部	Gherghel Claudia	援助提供を促進する社会文化的要因
142	データサイエンス学部	越仲 孝文	非構造化データの認識・理解による情報抽出手法の研究
143	データサイエンス学部	小屋 良祐	整数論について
144	データサイエンス学部	佐藤 彰洋	位置情報付きデータの利活用方式の開発と評価
145	データサイエンス学部	鈴木 雅智	既存住宅ストックの有効利用に向けた基礎的研究
146	データサイエンス学部	田鎖 順太	騒音による健康影響の解明および不確実なリスクの評価
147	データサイエンス学部	竹内 由則	薬剤疫学研究における統計的因果推論および欠測データ解析に係る研究
148	データサイエンス学部	土屋 隆裕	意識調査における回答誤差に関する研究
149	データサイエンス学部	戸田 浩之	人の特性を考慮した行動モデルに関する研究
150	データサイエンス学部	富田 誠	ヘルスデータにおける空間疫学や統計解析の研究
151	データサイエンス学部	中村 直俊	再発する医学現象の数理データ解析
152	データサイエンス学部	檜作 彰良	大規模言語モデルを用いた異常検知に関する研究
153	データサイエンス学部	藤田 慎也	グラフ理論の研究
154	データサイエンス学部	三澤 計治	遺伝幾何を用いた染色体距離解析による染色体異常の検出
155	データサイエンス学部	森山 卓	数理統計に関する基礎研究と多様な分野への応用研究について
156	データサイエンス学部	山田 崇史	都市整備に関わる人流・行動データ解析
157	その他(保健管理センター)	小田原 俊成	学生・教職員の保健管理のありかたに関する研究および認知症予防に関する臨床研究